経静脈的免疫グロブリン(IVIg)クリニカルパス

氏名　　様

経過日数	1日目（入院）	2日目～4日目	5日目	6～10日目
観察	1日2回検温をします（体温、血圧、脈拍、酸素飽和度）。 症状の変化（発熱、頭痛、寒気、吐き気、筋肉痛、湿疹、胸が苦しい、全身倦怠感）が出現した場合には看護師にお知らせ下さい。			
安静	制限はありません。病状・身体状況により安静度の変更をすることがあります。			
食事	制限はありません。病状により食事内容を変更することがあります。			
清潔	点滴終了後(または点滴開始前)シャワーを浴びることができます。			
排泄	制限はありません。状態により制限があることがあります。			
診察	医師の回診が定期的にあります。			
処置	点滴の針を挿入します。		点滴の針を抜去します。	
リハビリ	医師の指示のもと必要があればリハビリを行います。			
検査	必要時は採血・胸のレントゲンを行います。			
薬物療法	持参薬を確認します。 医師の中止の指示がなければ継続して飲みます。 免疫グロブリンの点滴を行います。	免疫グロブリンの点滴を行います。		
説明	入院生活と治療中の注意点について 看護師が説明を行います。			
指導	入院診療計画書をお渡しします。 薬剤師から薬の説明があります。			
目標	副作用なく治療を受ける事ができる。副作用出現時は医療者に報告できる。			

・わからないことがあれば遠慮なくお尋ねください。
・症状、経過によってはスケジュール通りにならない場合があります。

2017年9月作成（2019年8月5日改訂）パス委員会承認　聖隷浜松病院　C9病棟